

笑顔輝く せたっこ通信

令和8年4月
大津市立瀬田幼稚園



令和8年度がスタートしました。

正門横の花壇に山桜が植わっています。ソメイヨシノよりも後に咲き始め、色も白ぼいため、目立ちにくいかもしれませんが、今年は今までにないくらいに咲き誇りました。山桜は大津市の木になっています。(市の花は叡山すみれ・市の鳥はゆりかもめです)

そして、あっという間に4月が終わり、暖かい日差しも暑さを感じるようになってきました。

3歳児あか組20名、4歳児き組24名、5歳児あお組21名、計65名の園児と教職員20名と共に、令和8年度が始まり1カ月が過ぎようとしています。

この通信では、子どもたちの遊びや生活、園の行事などをお伝えしていきたいと思っています。

昨年度は大津市から「学びプロジェクト研究」の研究指定を受け、子ども達が日々の遊びを通して経験していくこと、人との関りを通して経験することを小学校へつないでいくことを瀬田小学校と共に取り組んできました。

主体的に子ども達が人と関り、「やってみたい」気持ちを高め、遊びや生活を作り出す力を育む過程や育ちを小学校と共有し、学びあうことを「瀬田モデル」と称し、継承していきたいと思っています。

また、この研究を通して近隣の民間こども園・保育園の5歳児同士の交流も始めることができました。瀬田学区の就学前施設の子ども達が小学校と交流することで少しでも安心して入学できることを願った取り組みでもあります。

【瀬田幼稚園のすてきなところ】(令和7年保護者アンケートより)

瀬田小学校と隣同士 たくさん交流をしているところ

今年度も5年生が毎週木曜日、小学校の昼休みの時間に幼稚園に来てくれます。幼稚園の園庭で一緒に遊ぶことから始まり、交流を深めていきます。また、この交流は児童だけでなく、小学校の先生方との交流もあります。

1年生になった保護者の方からは、「交流があったことで、安心して学校に行くことができた。」という声が寄せられました。

今年度は5月7日から始まります。





小学校へ行ってきました

先日、5歳児、4歳児が小学校の運動場に遊びに行ってきました。いろいろな高さの鉄棒があり、自分の背と比べながら高さを選んでいました。「低いし簡単！」と得意気に前回りをしたり同じ高さの鉄棒が2つ並んでいるので、二人で同じポーズをしてみたり、親しみのある鉄棒を楽しんでいました。

そして、なぜか子ども達が手にするのが「木の枝」。小学校の運動場には大きな木がたくさんあり、いろいろな長さ、太さ、色の木の枝が落ちているのですが、子ども達にとってすごい魅力的なものですね。



長休みの時間になった小学生が、子ども達を見つけて駆け寄って来てくれ「5年生になったから幼稚園に行きます！！」「絶対1番に行きたいって先生に言うし！」と声をかけてくれました。『5年生になったら幼稚園に遊びに行く』という文化ができ始めてきたことを嬉しく思うと同時に、子ども達の主体性が人とのつながりをつくる姿に出会うことの喜びを感じることができました。

また、1年生になった元あお組の子どもたちも駆け寄って来てくれました。き組の子ども達を見て「覚えてる？あお組やったんやけど」「き組って前あか組やった人？」「次にあお組になったらその次は1年生になれるからね」とそれぞれの思いを伝えてくれました。



もうすぐこどもの日



3歳児は指先を使い、たくさんシールを貼っておしゃれなこいのぼりをつくりました



4歳児は丁寧にのりをつかってうろこを貼ったりパスで模様をかいたり2匹のこいのぼりをつくりました



5歳児は画用紙で兜を折ったあと、はさみやのりを使って思い思いの模様を飾り付けました



この通信は大津市のホームページからも見て頂くことができます。